

LABELING GUIDELINE_2023

技能五輪全国大会のラベル取付けは、本ガイドラインによる。

【基本的考え方】

以下にラベルを取付けなければならない。

(ケーブル)

- ・ ケーブル端
- ・ ケーブル中間
- ・ 場所が異なる部分の入出部

(コネクタ)

- ・ コネクタ部

(パネル・箱・TO)

- ・ 前面
- ・ 前面 (ポート No.)

※ 配線図・接続表などにより、その一部を省略することができる場合がある。

※ 記入の方法は、直接記入、フラグ付き結束バンド使用、ラベルマシン使用などが考えられる。

※ ラベルの可読性は相対評価点の対象となる。

【識別 の方法】

メタルケーブル

[1]ケーブル端

以下のように識別する。原則としてフラグ付き結束バンドを使用する。

[(始端側 : Source) 始端パネル+ポート No. / (行先端側 : Destination) 行先端パネル+行先ポート No.]

※ ケーブルにケーブル名称が取り付けられている場合、または、配線図・施工票がある場合は、「(始端側) 行先端パネル+ポート No」は、簡易的に「ケーブル No.」で表記できる。

基本版 : [1A-1/2A-1] 簡易版 : [1/2A-1]

※基本版の表記とした場合は、相対評価点の対象となる。

※課題により別に指示する場合がある。

[2]ケーブル (中間)

以下のように識別する。ケーブル外径が概ね 10mm 以上の場合や複数本束ねている場合は、原則としてマジックテープおよびフラグ付き結束バンド(図 1(b))を使用する。外径が概ね 10mm 未満の場合や 1 本のみ配線する場合は、フラグ付き結束バンドのみで使用できる。

[ケーブル名称]

※ 取付け場所は、ケーブル両端 (ケーブルがまとめられた箇所、ケーブルが分かれる箇所) 、中間の 3ヶ

所とする。ただし、ケーブル物理長が 5m 以下 の場合は、中間部分を省略できる。

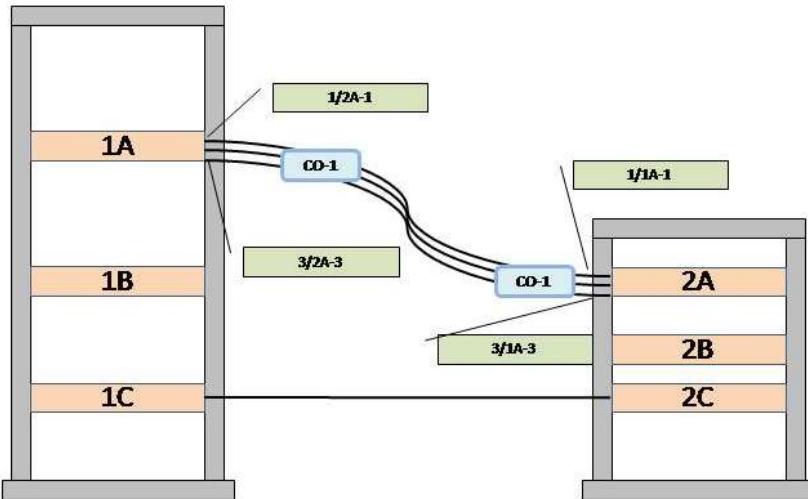
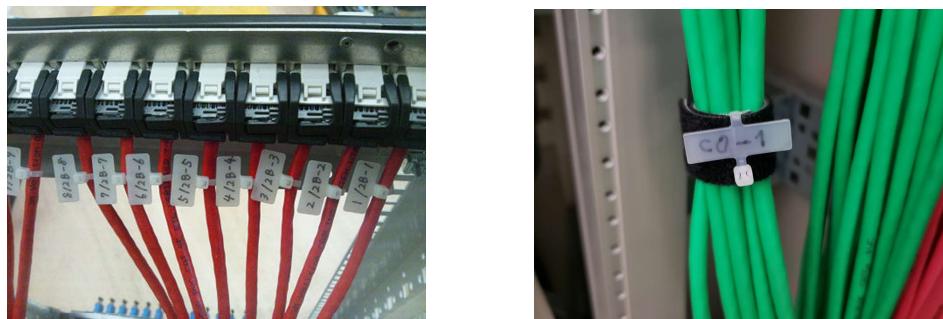


図 1 取り付け例



(c) ボックス内のケーブルへのラベル 例 : [A/ 3C-1]

図 2 ケーブルラベル

[3] 場所が異なる部分の入出部

ダクト、ケーブルトレイなどの入出力部にはラベルを取り付け識別する。

モジュラコネクタ

ケーブル端にラベルがある場合には、モジュラコネクタへのラベル取付けは必要ない。

パネル・箱・TO

[1] 前面（全体）

以下のように識別する。前面の見える位置にラベルを取付ける。テープ等を使用する。

※取り付けの綺麗さは相対評価点の対象となる。

[名称]



(a) パッチパネル



(c) TO

図5 名称

[2] 前面（ポート No.）

(a) パッチパネルの場合

ポート No.を記載する。黒のパッチパネルには、白テープを張り、その上にペン等で記載する。ポート No.を記載する場所がある場合には、そこに記載する。製品にポート No.が記載されている場合は、改めて記載する必要はない。

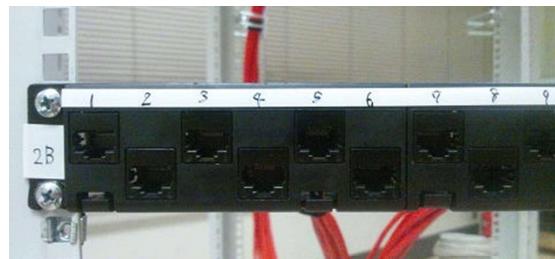


図6 パッチパネルへのポート No.記載

(b) T0 の場合

ポート No.を図 7 に従い、記載する。ただし、配置図等が別にある場合には省略できる。

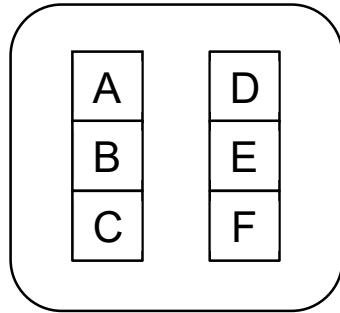


図 7 フェースプレートのポート No.位置

パッチコード

配線図・接続表がある場合、ラベルは省略できる。ただし、省略した場合は、配線図・接続表にパッチコード接続状態も記載しなければならない（パッチコード管理表がある場合は、それに記載する）。